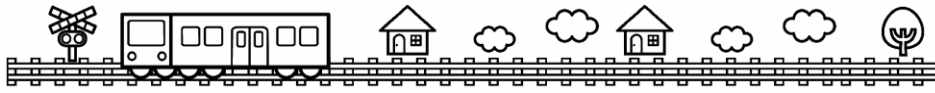


10月

尾久二だより

令和2年9月30日
荒川区立尾久第二幼稚園
園長 高橋 美香



身近にあるいろいろな自然

主任教諭 種田 保子

サツマイモ畑のつるが幼稚園のフェンスから外に出てくる程、ぐんぐんと伸びてきました。「土の中のサツマイモは大きくなっているかな？」と今から収穫が楽しみな子供たち。最近、畑のそばで飼育ケースを持った子供たちが、しゃがんで、何かを探している姿をよく見かけます。飼育ケースの中を見せてもらおうと、バツタがたくさん入っていて、「これね、全部私たちがつかまえたんだよ！」嬉しそうに話してくれました。ぴょんぴょん跳ねるバツタを見ていたら、「この黒いのはバツタのうんちだよ」と教えてくれました。

きっと自分たちが発見したことだったのでしょね。

1学期はここでダンゴムシやアリを探していた子供たちでしたが、サツマイモのつるが生い茂った今はバツタの住み家になり、新しい自然との出会いとなりました。季節の移り変わりを感じながら、感動や発見をたくさんすることは、子供たちにとって大切は経験です。これからも、キラキラとした眼差しを大切にしたいと思います。



幼稚園では、ミニ運動会の取り組みも始まっています。子供たちにとって大好きな運動会。今年は形式が変わりますが、感染予防に努めながら実施できることをとても嬉しく思います。かけっこやリズムなどを楽しむ子供たちは運動会をとても楽しみにしています。

一生懸命頑張る子供たちの姿を
楽しみにしててくださいね。



10月のねらい



うさぎ組

- 教師や友達と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ
- 身近な秋の自然に触れ、自然物を使って遊ぶことを楽しむ
- 友達と一緒に遊ぶ中で、約束やきまりがあることが分かる



りす組

- 自分なりに思いや考えを出し合いながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ
- いろいろな運動遊びに喜んで参加し、みんなで活動する楽しさを感じる
- 身近な秋の自然に親しみながら、戸外で遊ぶことを楽しむ



いるか組

- 共通の目的に向かって、気持ちを合わせて取り組み、達成感を味わう
- 秋の自然に触れ、自然物を遊びの中に取り入れて楽しむ